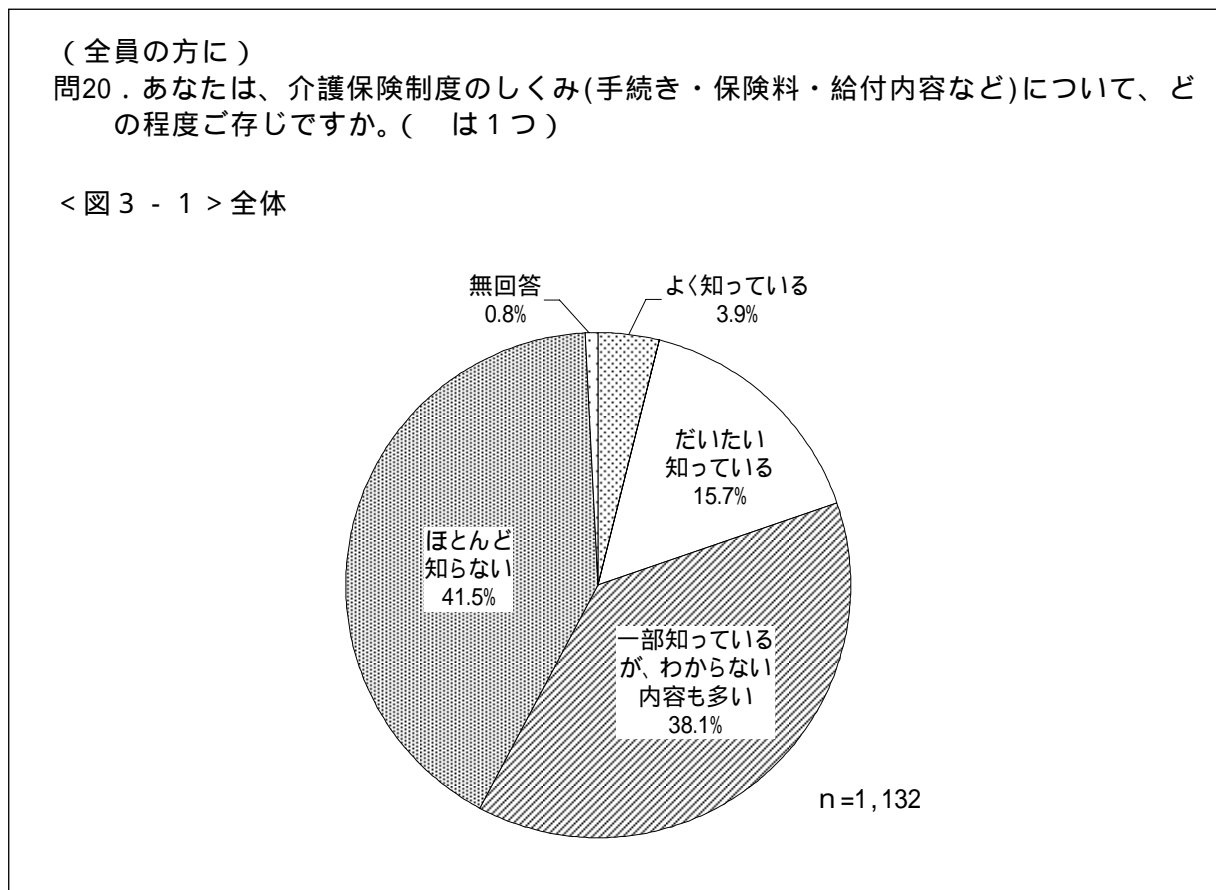


3 . 介護保険制度などについて

(1) 介護保険制度のしくみを認識している度合い

“ おおむね知っている ” が 2 割、一方、「ほとんど知らない」が 4 割強



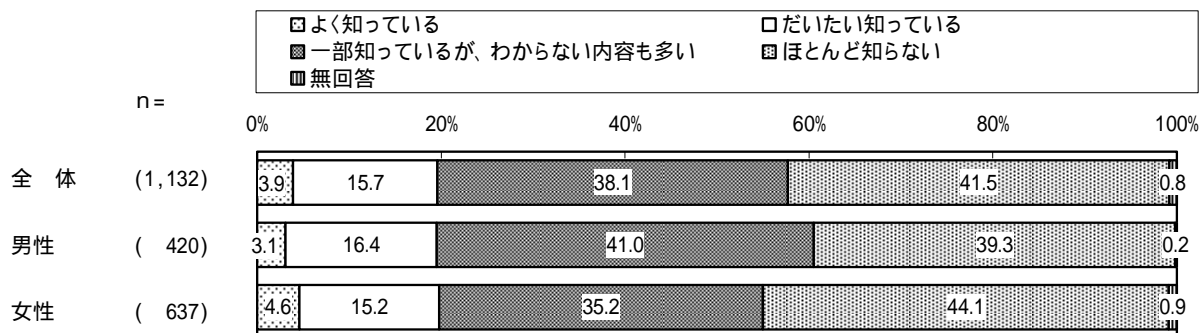
介護保険制度のしくみについては、「よく知っている」と答えた人は 3.9%、「だいたい知っている」と答えた人は 15.7%で、この両者を合わせた“ おおむね知っている ” が 2 割である。「一部知っているが、わからない内容も多い」と答えた人は 38.1%、「ほとんど知らない」と答えた人は 41.5%となっている。(図 3 - 1)

性別に見ると、「一部知っているが、わからない内容も多い」と答えた人は男性(41.0%) が女性(35.2%)より 5.8 ポイント高く、「ほとんど知らない」と答えた人は女性(44.1%) が男性(39.3%)より 4.8 ポイント高くなっている。(図 3 - 2)

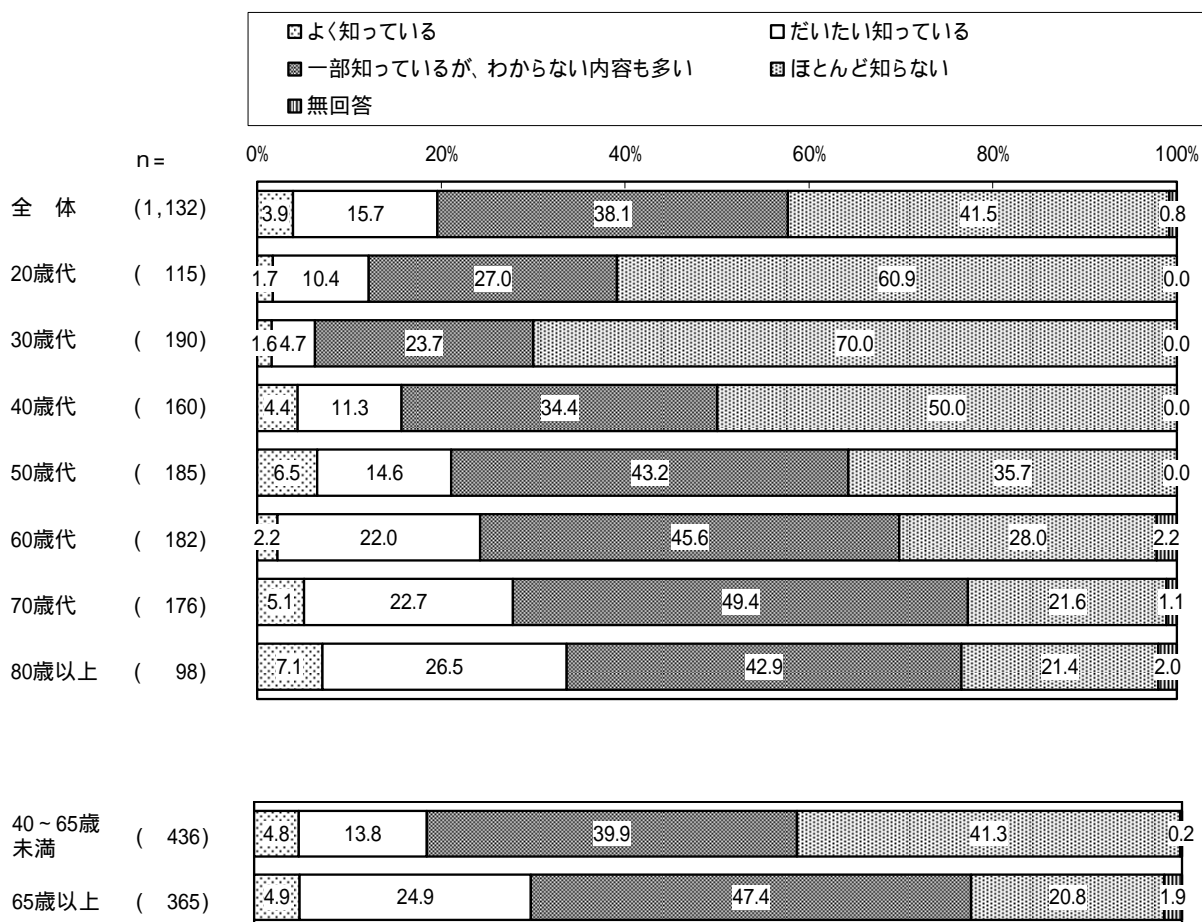
年齢別に見ると、“ おおむね知っている ” は 70 歳以上で 30%前後と高くなっている。一方、「一部知っているが、わからない内容も多い」と「ほとんど知らない」を合わせた“ あまり知らない ” は、20 歳代と 30 歳代で 90%前後と非常に高くなっている。

(図 3 - 3)

< 図 3 - 2 > 性別



< 図 3 - 3 > 年齢別



(2) 介護保険制度をよくなるための取組

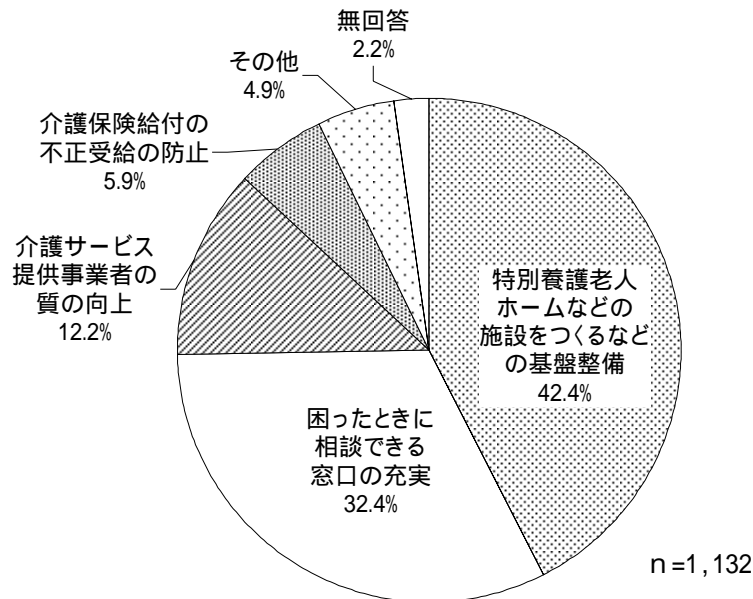
「特別養護老人ホームなどの施設をつくるなどの基盤整備」が4割強

(全員の方に)

問21. 介護保険制度をよくなるために区がもっとも力を入れるべきことは何ですか。

(は1つ)

< 図3 - 4 > 全体



介護保険制度をよくなるために区がもっとも力を入れるべきことは、「特別養護老人ホームなどの施設をつくるなどの基盤整備」と答えた人が42.4%と最も多くなっている。以下、「困ったときに相談できる窓口の充実」(32.4%)、「介護サービス提供事業者の質の向上」(12.2%)、「介護保険給付の不正受給の防止」(5.9%)の順になっている。

(図3 - 4)

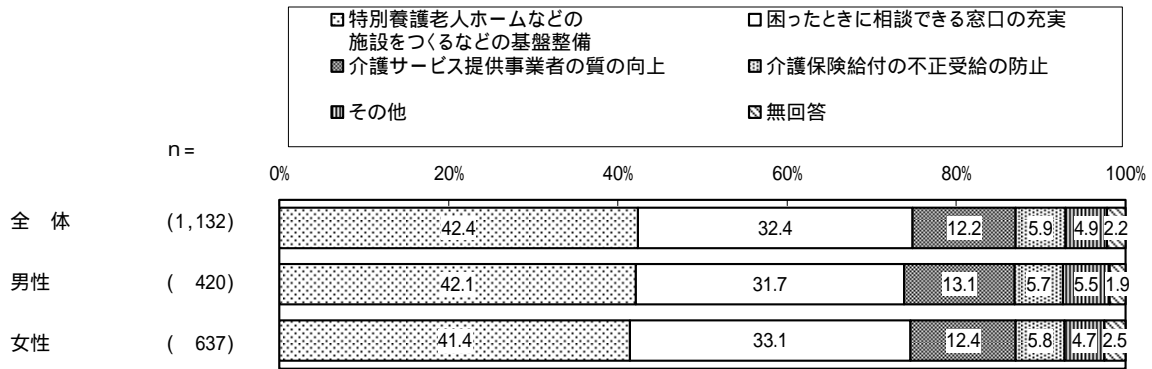
性別に見ると、大きな差は見られない。(図3 - 5)

年齢別に見ると、「特別養護老人ホームなどの施設をつくるなどの基盤整備」と答えた人は60歳代で50.5%と高くなっている。また、「困ったときに相談できる窓口の充実」と答えた人は40歳代と50歳代で30%台後半と高くなっている。(図3 - 6)

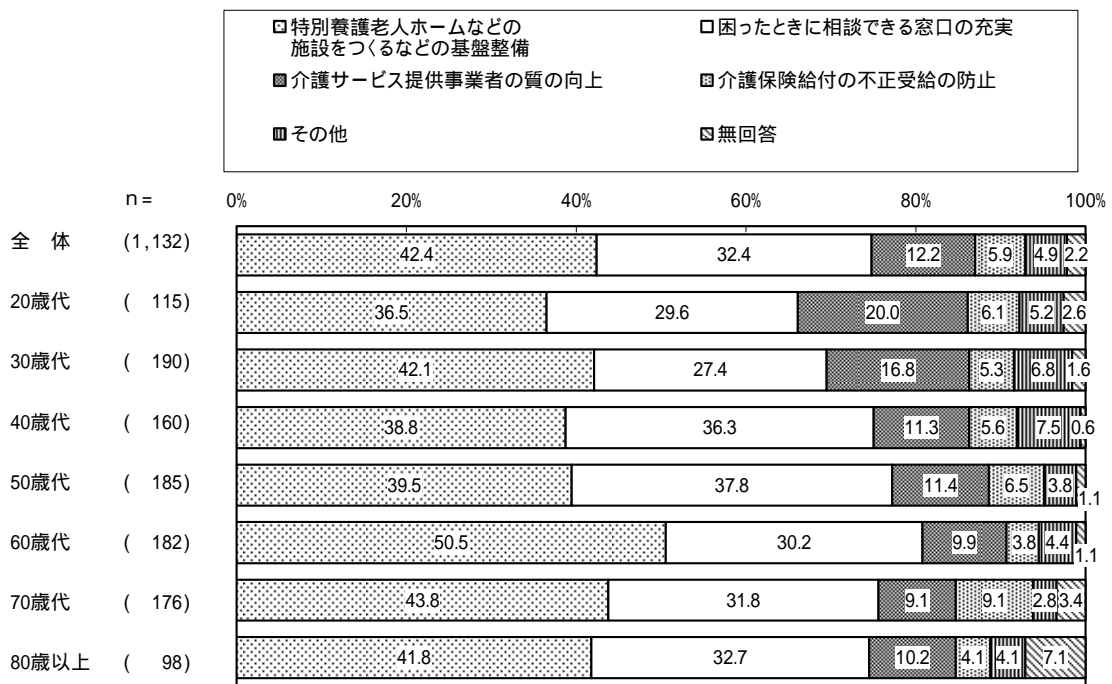
世帯構成別に見ると、「特別養護老人ホームなどの施設をつくるなどの基盤整備」と答えた人はいずれも3割半を超えており、特に夫婦のみ世帯で45.8%と高くなっている。

(図3 - 7)

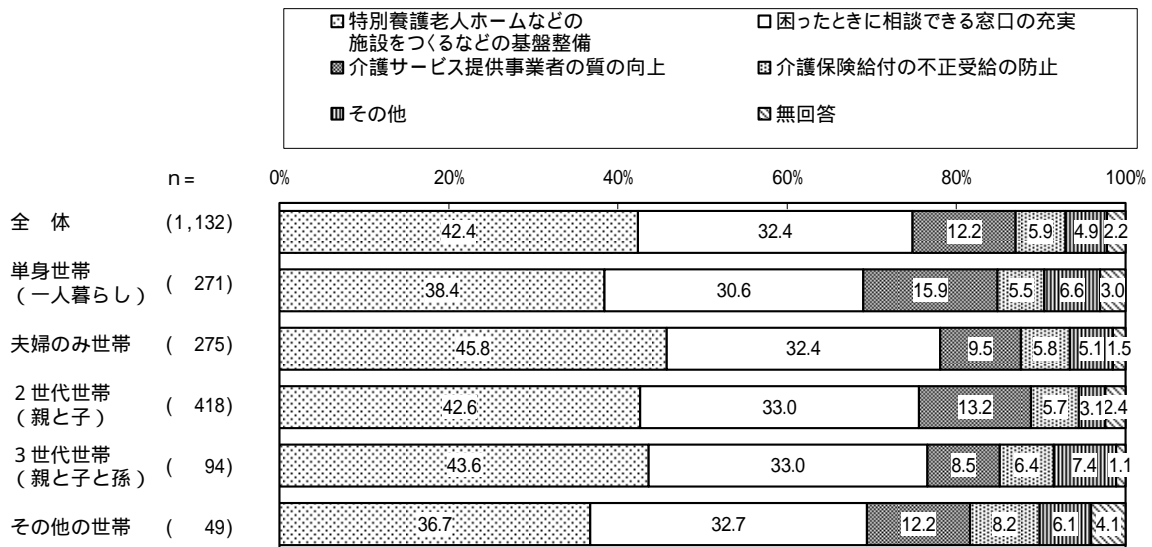
< 図 3 - 5 > 性別



< 図 3 - 6 > 年齢別



< 図 3 - 7 > 世帯構成別



(3) 認知症の症状や対応方法を理解している割合

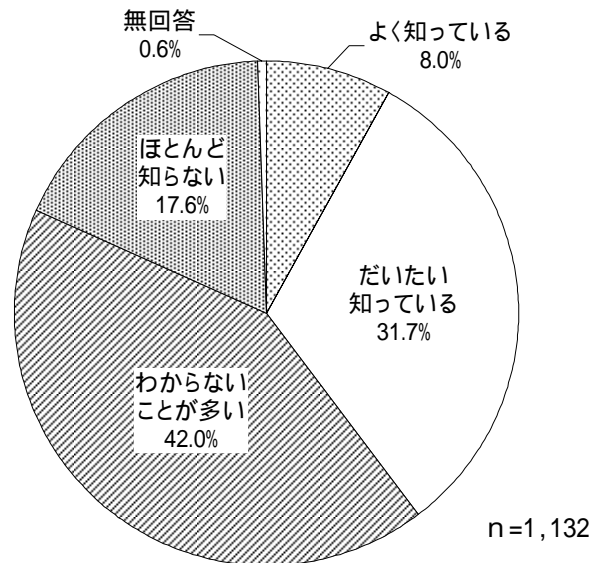
「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせると4割

(全員の方に)

問22. あなたは、認知症の症状や対応方法について、どの程度理解していますか。

(は1つ)

< 図3 - 8 > 全体

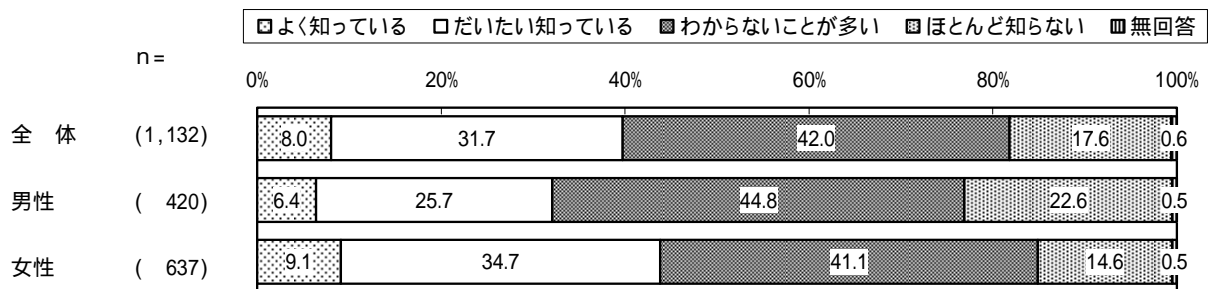


認知症の症状や対応方法について、「よく知っている」と答えた人は8.0%、「だいたい知っている」と答えた人は31.7%で、この両者を合わせた“おおむね知っている”が4割となっている。一方、「わからないことが多い」と答えた人は42.0%、「ほとんど知らない」と答えた人は17.6%となっている。(図3 - 8)

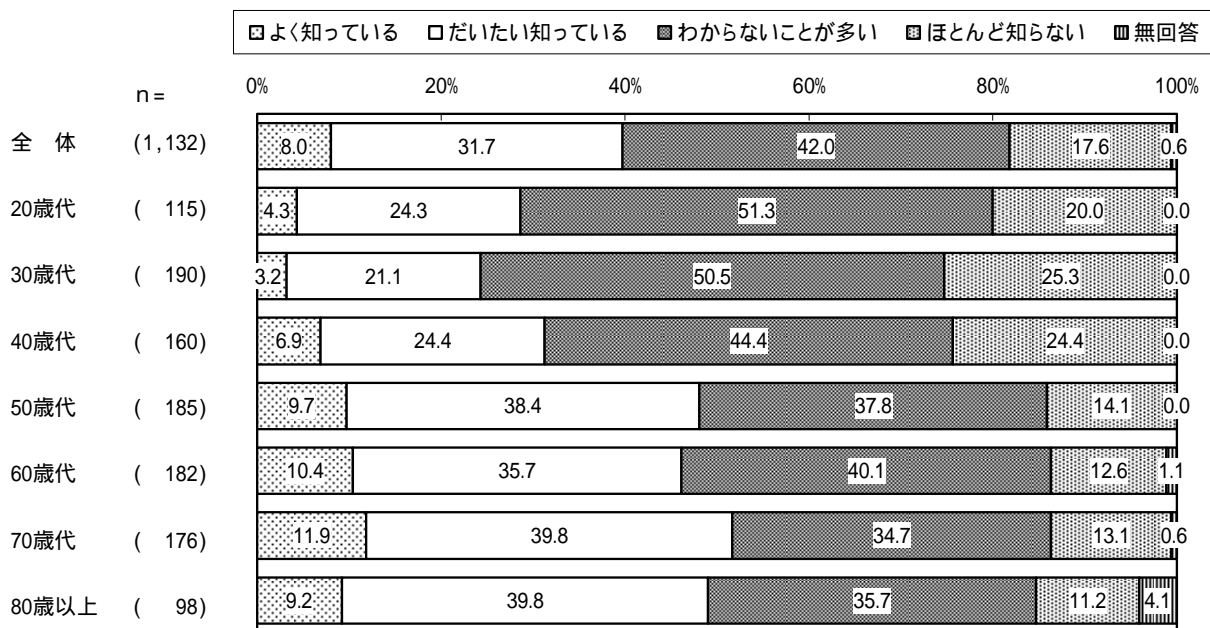
性別に見ると、“おおむね知っている”と答えた人は女性(43.8%)が男性(32.1%)より11.7ポイント高くなっている。一方、「ほとんど知らない」と答えた人は男性(22.6%)が女性(14.6%)より8.0ポイント高くなっている。(図3 - 9)

年齢別に見ると、“おおむね知っている”と答えた人は40歳代以下の年代に比べて、50歳代以上の年代で割合が高くなっている。一方、「わからないことが多い」と答えた人は20歳代と30歳代で50%台前半と高くなっている。(図3 - 10)

< 図 3 - 9 > 性別



< 図 3 - 10 > 年齢別



(4) 地域包括支援センターを認識している度合い

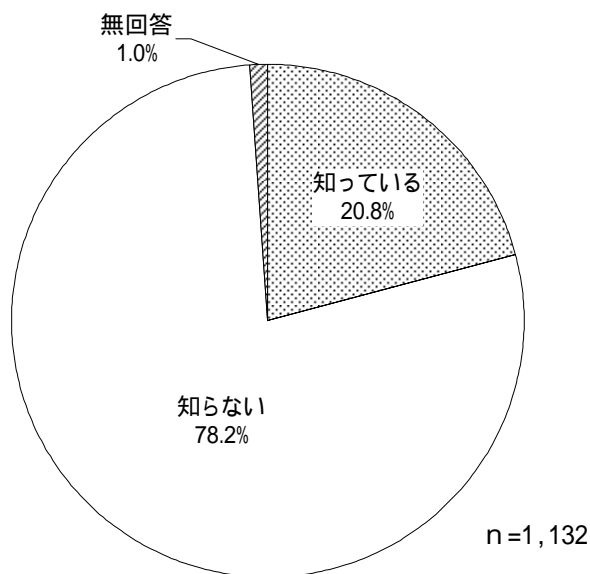
知っている人は2割

(全員の方に)

問23. 高齢者の介護予防や在宅生活を支える各種相談を行う地域包括支援センターが区内に8か所設置されています。

あなたは、ご自分の住んでいる地域を担当している地域包括支援センターはどこか(名称・所在地など)ご存じですか。(は1つ)

<図3-11> 全体



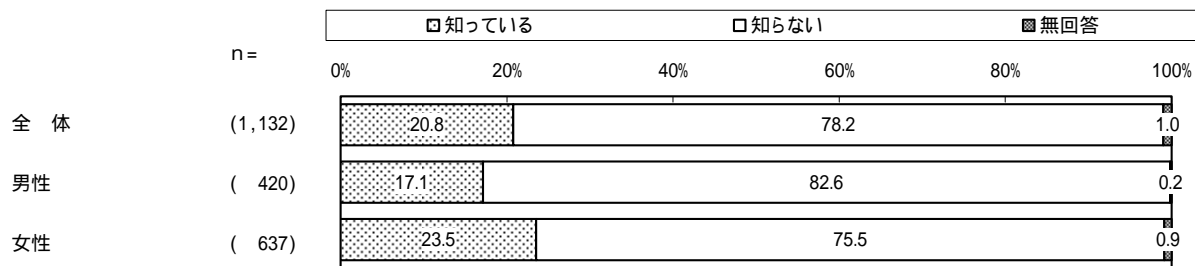
自分の住んでいる地域を担当している地域包括支援センターを「知っている」と答えた人は20.8%、「知らない」と答えた人は78.2%となっている。(図3-11)

性別に見ると、「知っている」と答えた人は女性(23.5%)が男性(17.1%)より6.4ポイント高くなっている。(図3-12)

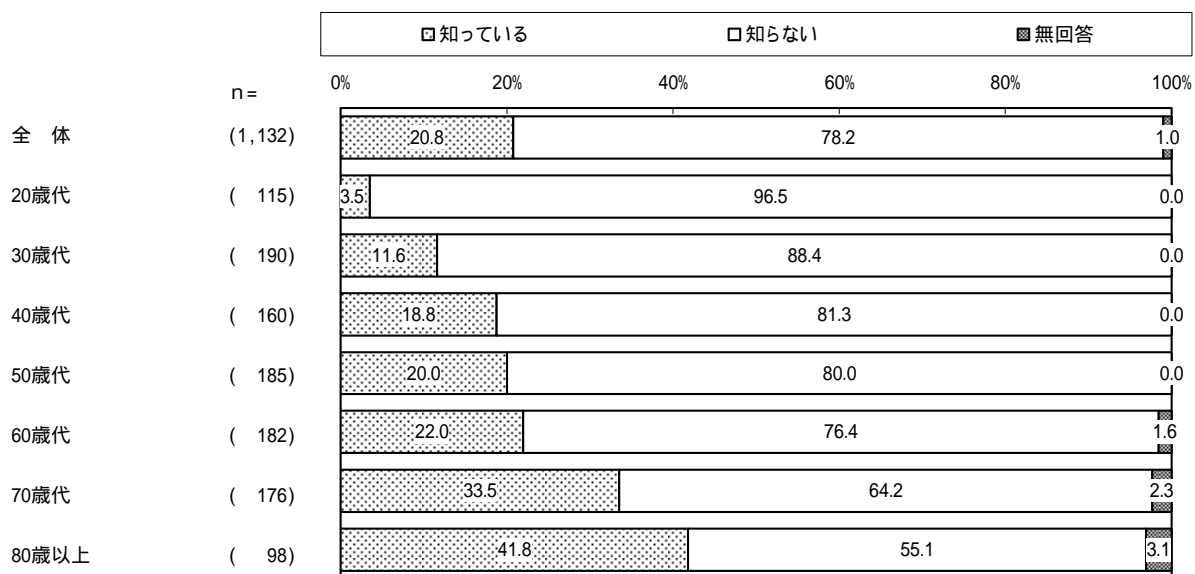
年齢別に見ると、「知っている」と答えた人は年齢が上がるほど割合が高くなっており、特に80歳以上で41.8%と高くなっている(図3-13)

介護保険制度のしくみを認識している度合い(67ページ問20)別に見ると、「知っている」と答えた人は、介護保険制度をよく知っている人で7割、だいたい知っている人で4割と高くなっている。(図3-14)

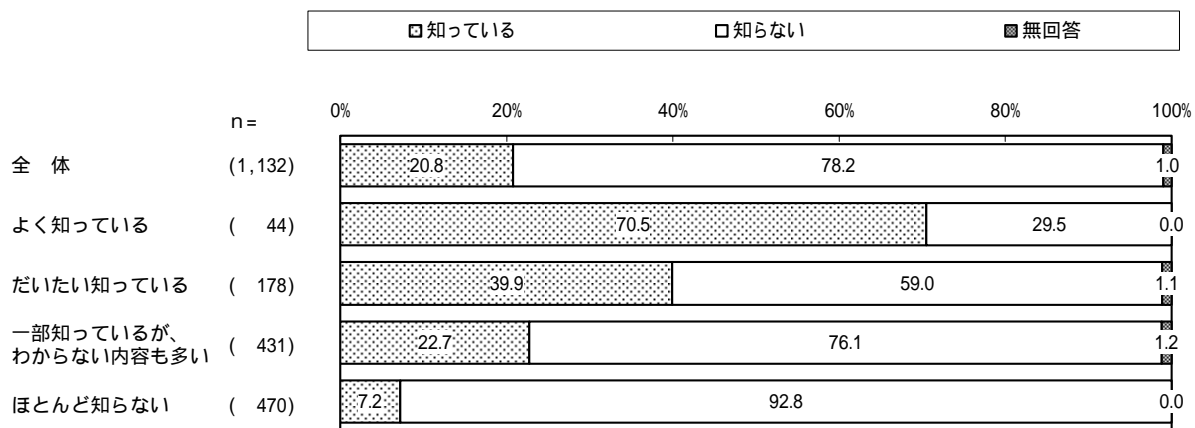
< 図 3 - 12 > 性別



< 図 3 - 13 > 年齢別



< 図 3 - 14 > 介護保険制度のしくみを認識している度合い（問 20）別



(5) 介護予防を意識している度合い

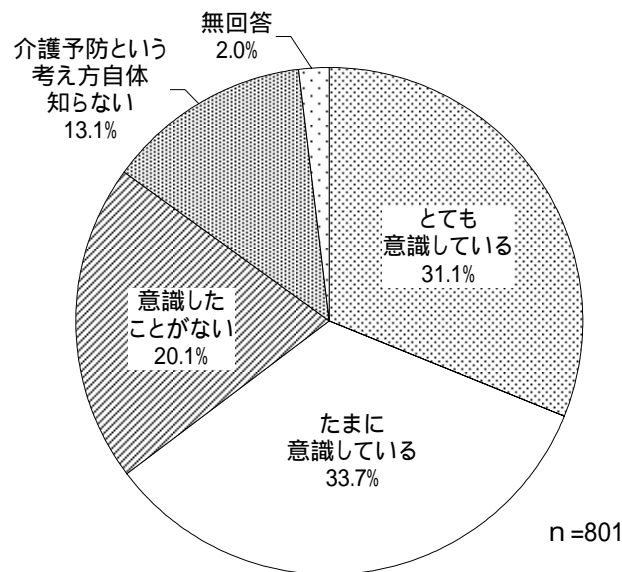
「とても意識している」と「たまに意識している」を合わせると6割半

(40歳以上の方に)

問24. 寝たきりにならない、介護を必要としないよう心身の衰えを予防する「介護予防」という考え方が普及しています。あなたは日頃、介護予防を意識していますか。

(は1つ)

< 図3 - 15 > 全体

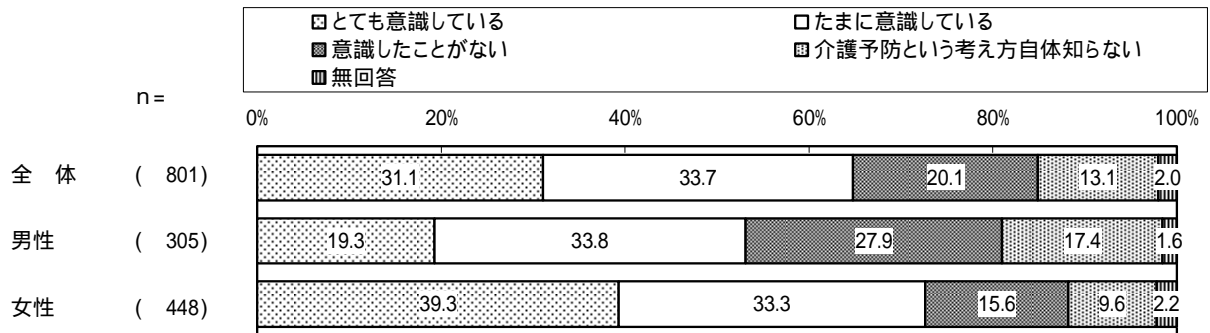


日頃の生活習慣における介護予防を「とても意識している」と答えた人は31.1%、「たまに意識している」と答えた人は33.7%で、この両者を合わせた“意識している”が6割半となっている。一方、「意識したことがない」と答えた人は20.1%、「介護予防という考え方自体知らない」と答えた人は13.1%となっている。(図3 - 15)

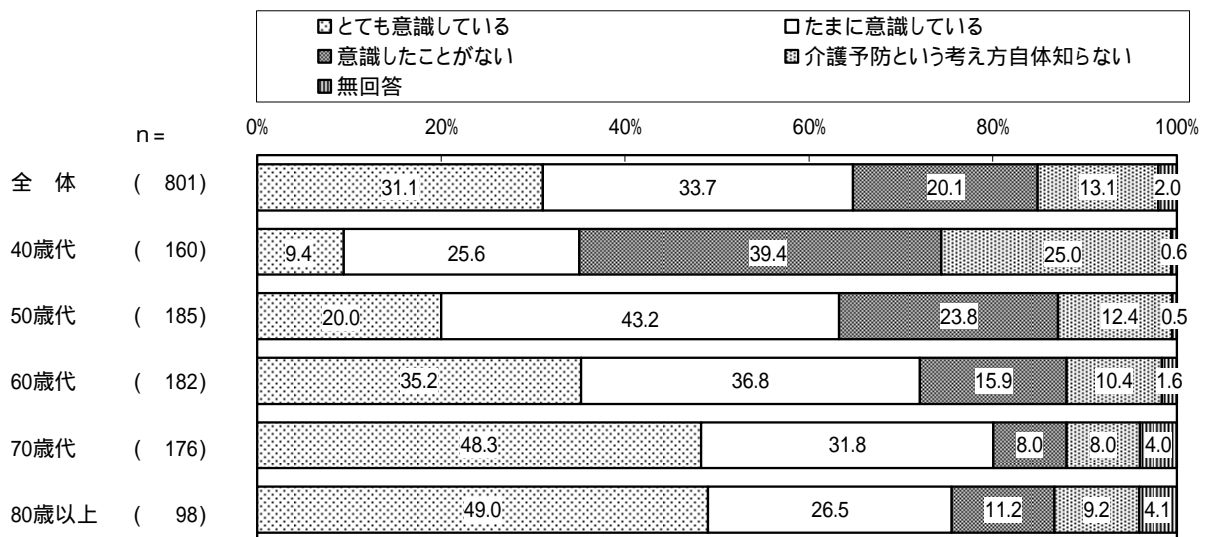
性別に見ると、「とても意識している」と答えた人は女性(39.3%)が男性(19.3%)よりも20.0ポイント高くなっている。一方、「意識したことがない」と答えた人は男性(27.9%)が女性(15.6%)より12.3ポイント高くなっている。(図3 - 16)

年齢別に見ると、「とても意識している」と答えた人は年齢が上がるほど割合が高くなっており、特に70歳代以上で5割近くと高くなっている。一方、「意識したことがない」と答えた人は40歳代で39.4%と高くなっている。(図3 - 17)

< 図 3 - 16 > 性別



< 図 3 - 17 > 年齢別



(6) 地域の犬や猫の飼い主のマナー

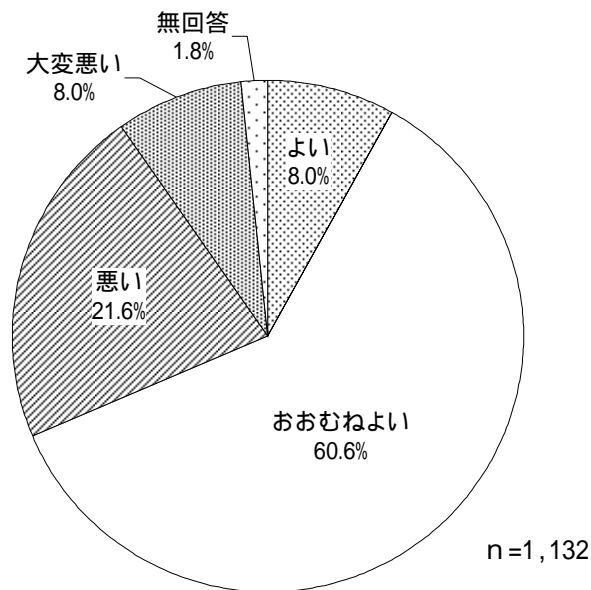
「よい」と「おおむねよい」を合わせると7割弱

(全員の方に)

問28. あなたのお住まいの地域で犬や猫の飼い主のマナーをどのように感じますか。

(は1つ)

<図3 - 18> 全体



お住まいの地域で犬や猫の飼い主のマナーは、「よい」と答えた人は8.0%、「おおむねよい」と答えた人は60.6%で、この両者を合わせた“よいと感じる”が7割弱となっている。一方、「悪い」と答えた人は21.6%、「大変悪い」と答えた人は8.0%となっている。

(図3 - 18)

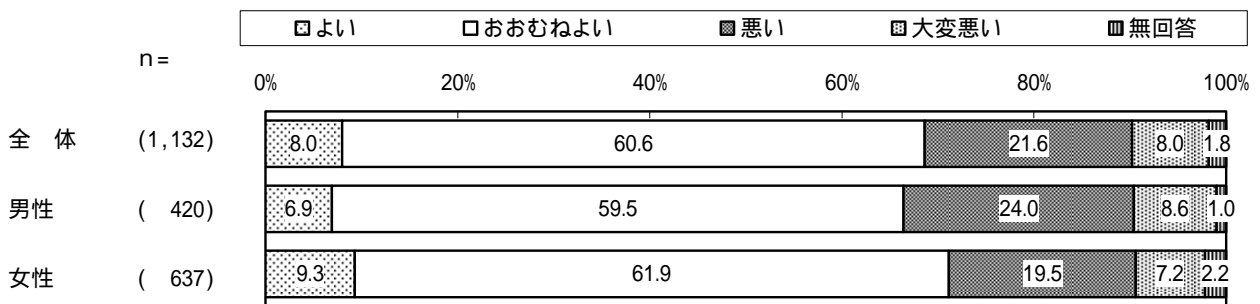
性別に見ると、“よいと感じる”は女性(71.2%)が男性(66.4%)より4.8ポイント高くなっている。(図3 - 19)

年齢別に見ると、“よいと感じる”は年齢が低いほど割合が高くなる傾向が見られる。一方、「大変悪い」と答えた人は70歳代以上で10%台前半となっている。(図3 - 20)

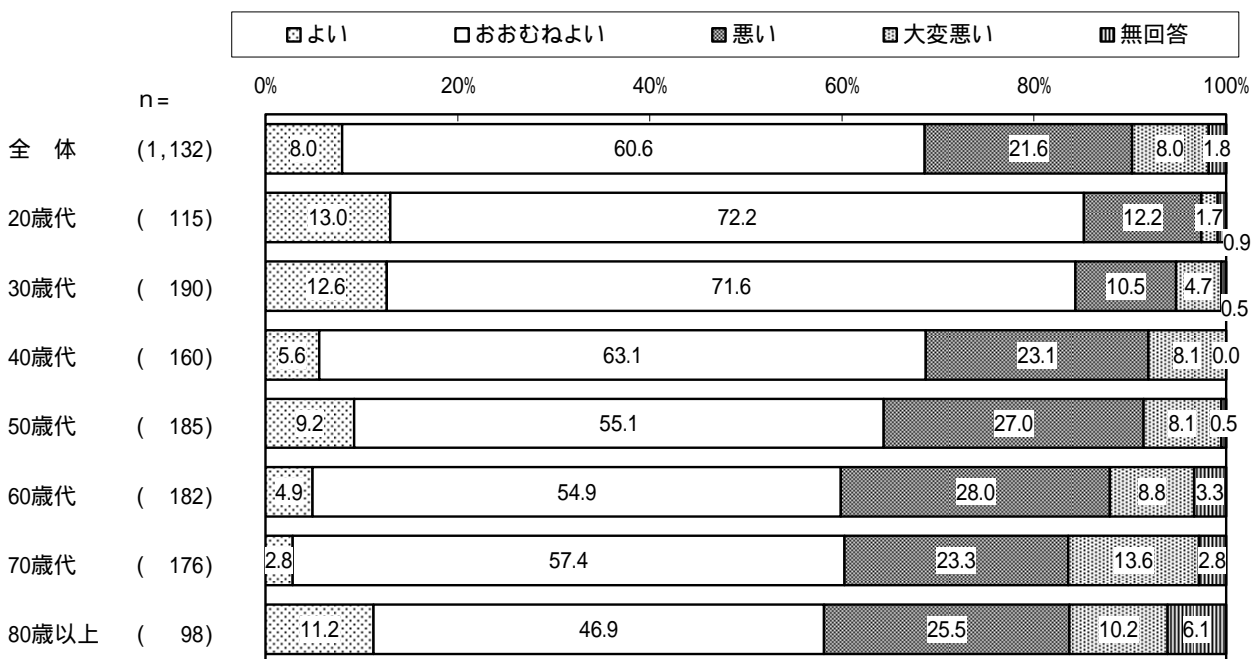
居住地域別に見ると、“よいと感じる”は丸山で約90%と特に高く、上鷲宮・中野・東中野・松が丘地域でも70%後半と高くなっている。一方、「大変悪い」と答えた人は弥生町・大和町・本町・江原町・若宮・江古田・鷲宮地域で10%台前半となっている。

(図3 - 21)

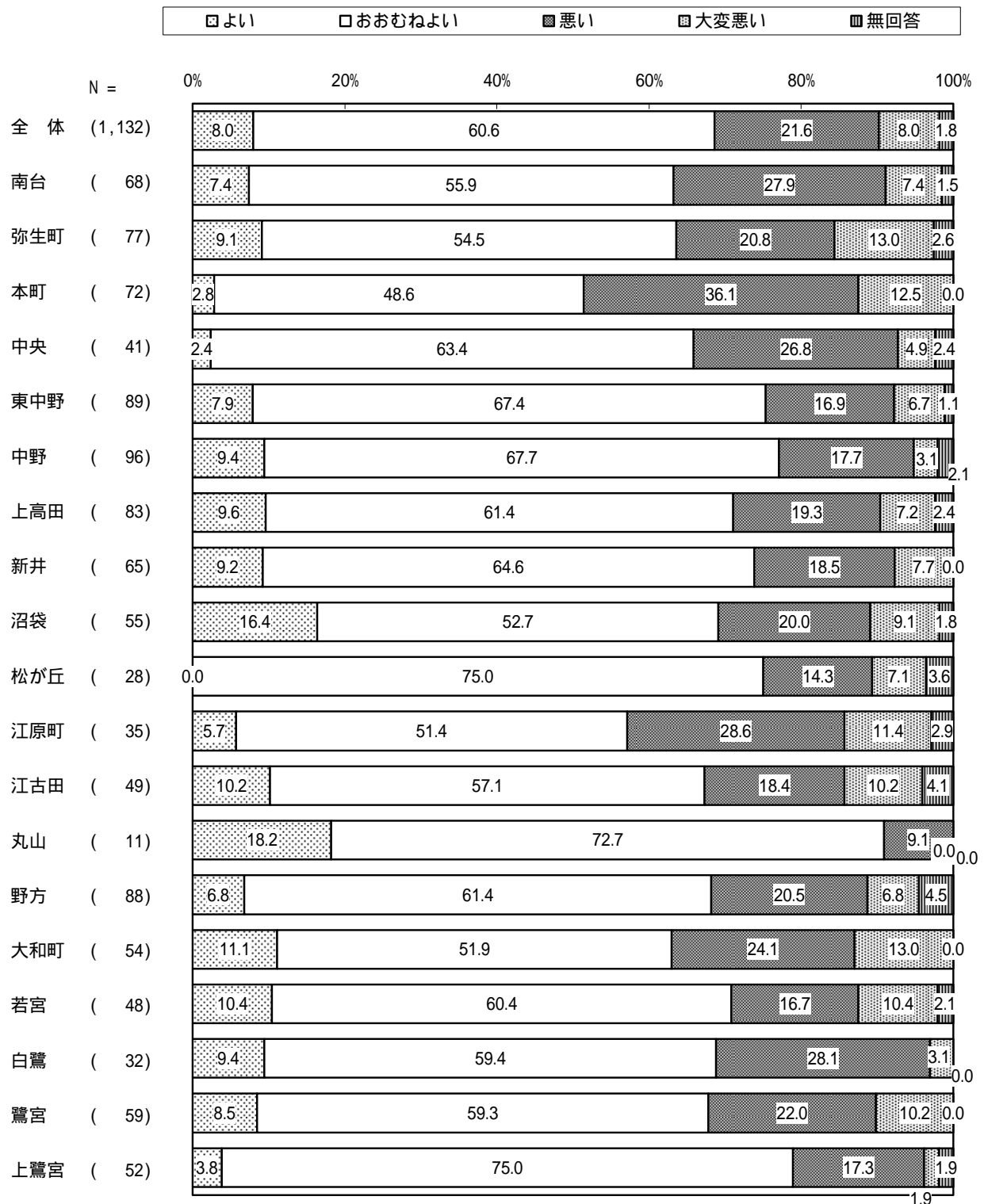
< 図 3 - 19 > 性別



< 図 3 - 20 > 年齢別



< 図 3 - 21 > 居住地域別



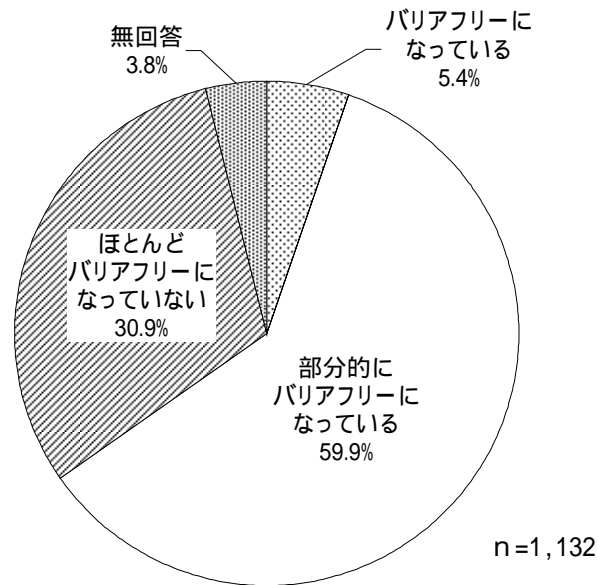
(7) 交通機関・道路・建物などのバリアフリー化の度合い

「なっている」が5.4%、「部分的にバリアフリーになっている」が6割

(全員の方に)

問26. あなたは、地域の交通機関や道路、建物などが、障害者や高齢者、乳幼児親子等にとって外出しやすく、バリアフリーになっていると思いますか。(は1つ)

<図3 - 22> 全体



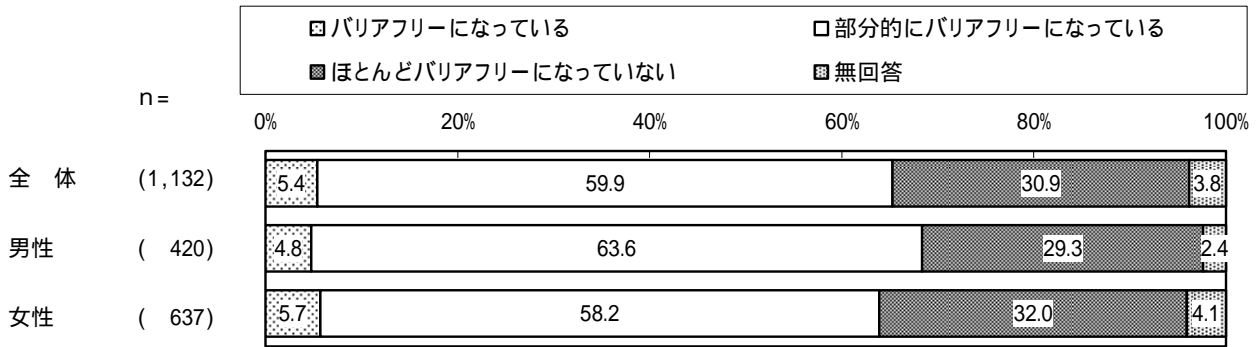
障害者や高齢者、乳幼児親子等にとって外出しやすく、「バリアフリーになっている」と答えた人は5.4%、「部分的にバリアフリーになっている」と答えた人は59.9%となっている。一方、「ほとんどバリアフリーになっていない」と答えた人は30.9%となっている。(図3 - 22)

性別に見ると「部分的にバリアフリーになっている」は男性(63.6%)が女性(58.2%)より5.4ポイント高くなっている。一方、「ほとんどバリアフリーになっていない」と答えた人は女性(32.0%)が男性(29.3%)より2.7ポイント高くなっている。(図3 - 23)

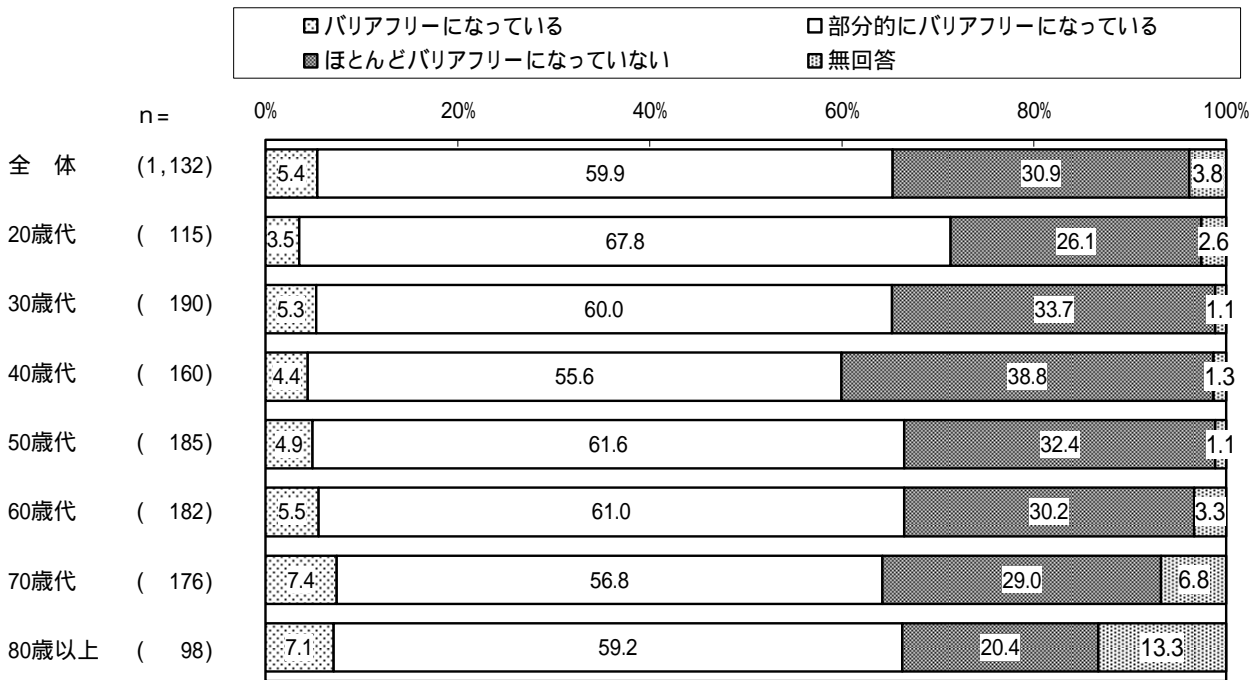
年齢別に見ると、「部分的にバリアフリーになっている」は20歳代で67.8%と最も高くなっている。一方、「ほとんどバリアフリーになっていない」と答えた人は40歳代で38.8%となっている。(図3 - 24)

居住地別に見ると、「ほとんどバリアフリーになっていない」と答えた人は丸山・弥生町・沼袋地域で40%を越えている。(図3 - 25)

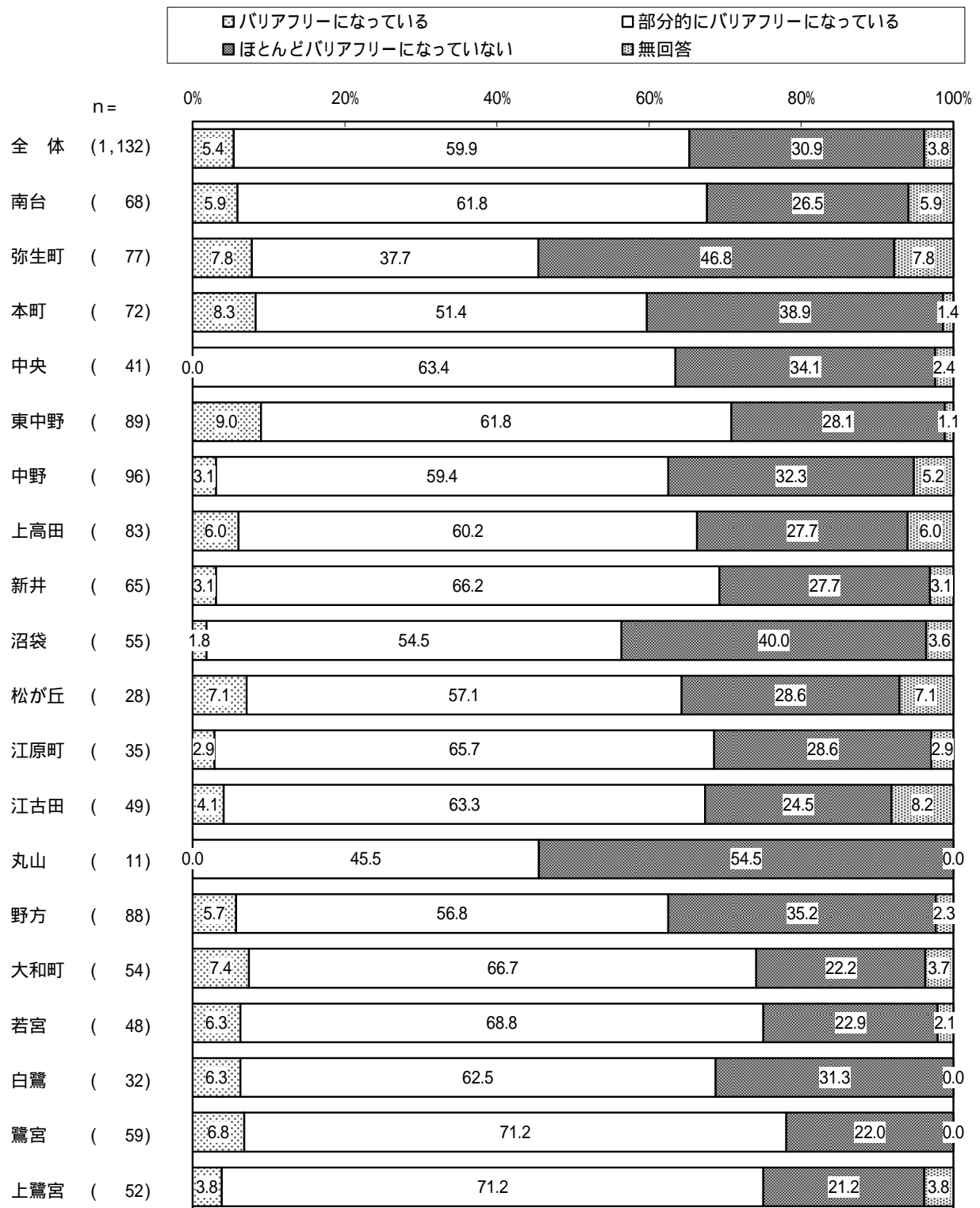
< 図 3 - 23 > 性別



< 図 3 - 24 > 年齢別



< 図 3 - 25 > 居住地域別



(8) バリアフリーになっていないと思う施設

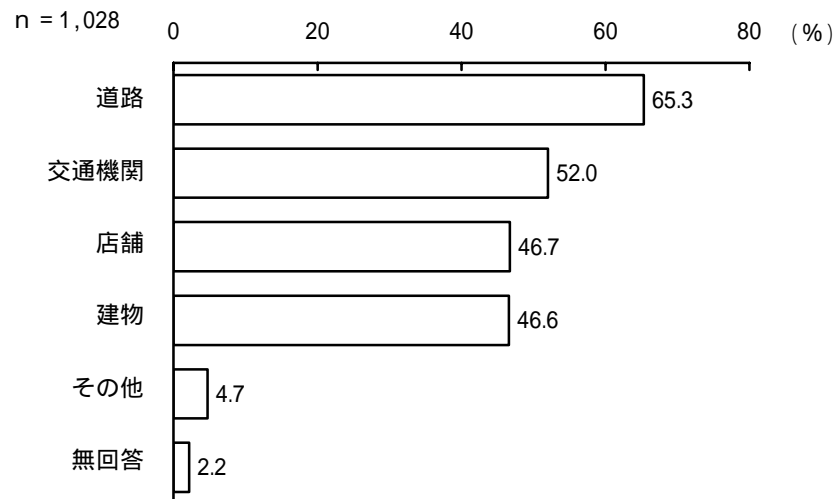
「道路」が6割半、「交通機関」が5割強

(問 26 で「部分的にバリアフリーになっている」「ほとんどバリアフリーになっていない」と回答した方に)

問27 . バリアフリーになっていないと感じるものは何ですか。

(あてはまるものすべてに)

< 図 3 - 26 > 全体



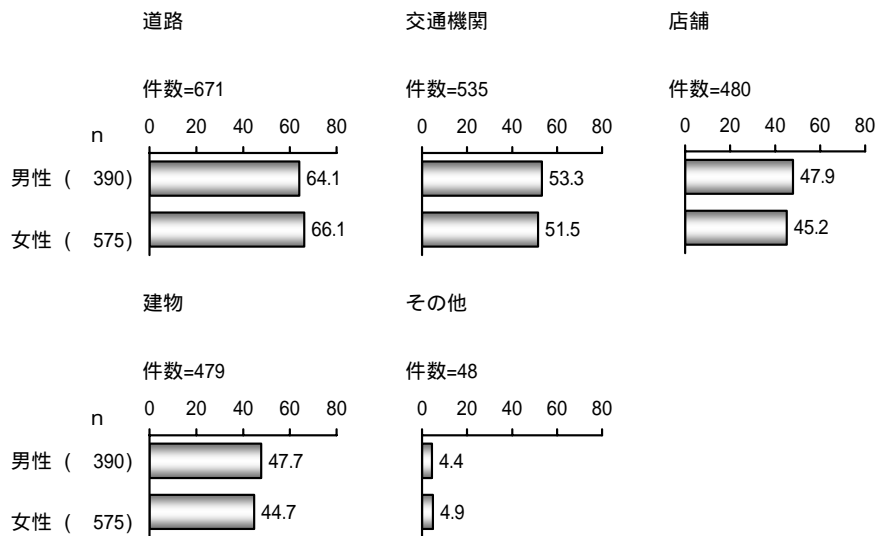
バリアフリーになっていないと感じるものは、「道路」と答えた人は 65.3% と最も高くなっている。以下、「交通機関」(52.0%)、「店舗」(46.7%)、「建物」(46.6%) の順になっている。(図 3 - 26)

性別に見ると、各項目とも男女間で大きな差は見られない。(図 3 - 27)

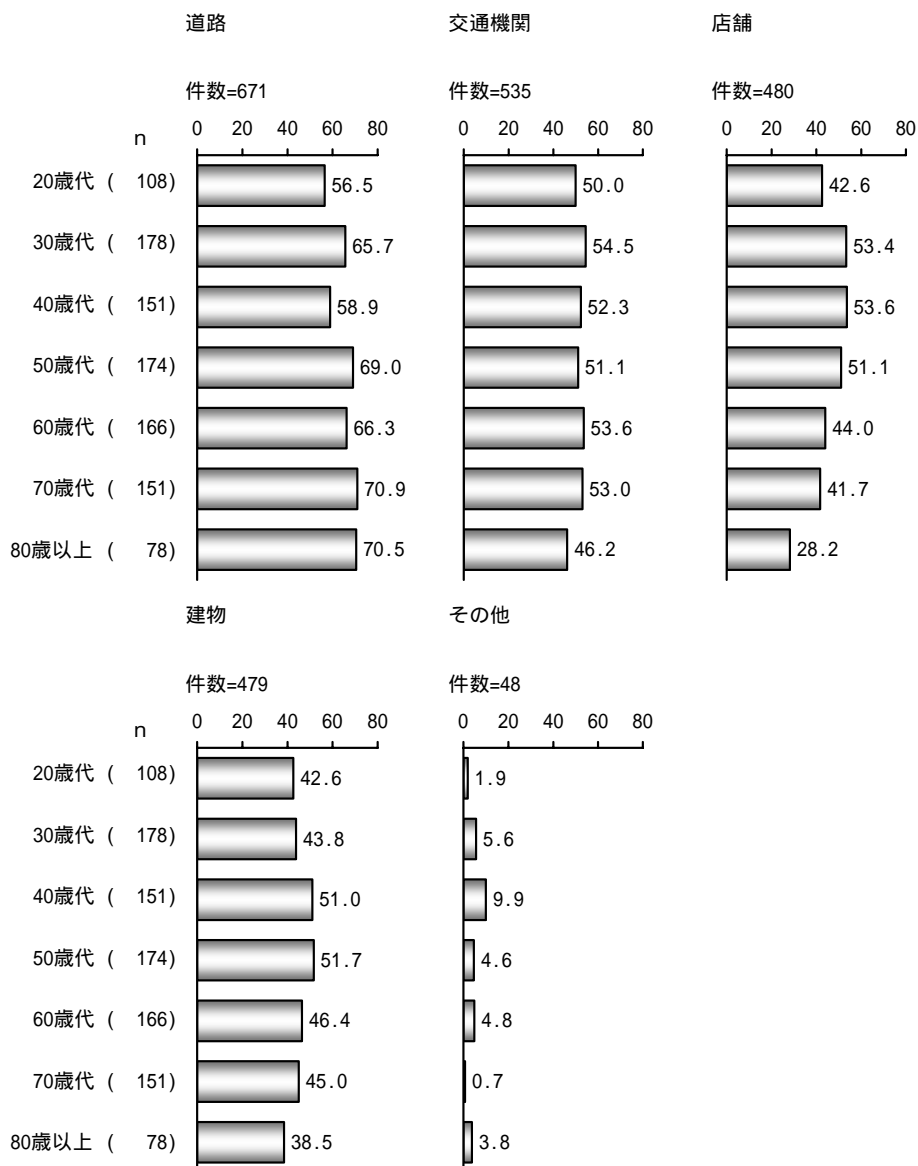
年齢別に見ると、「道路」と答えた人は 70 歳代以上で 70% を超えている。「交通機関」と答えた人は 80 歳以上を除いて 50% を超えている。(図 3 - 28)

居住地域別に見ると、「道路」と答えた人は丸山・弥生町・大和町・白鷺・江原町地域で 70% を超えている。また、「交通機関」と答えた人は丸山・野方・本町・中央地域で 60% 以上になっている。(図 3 - 29)

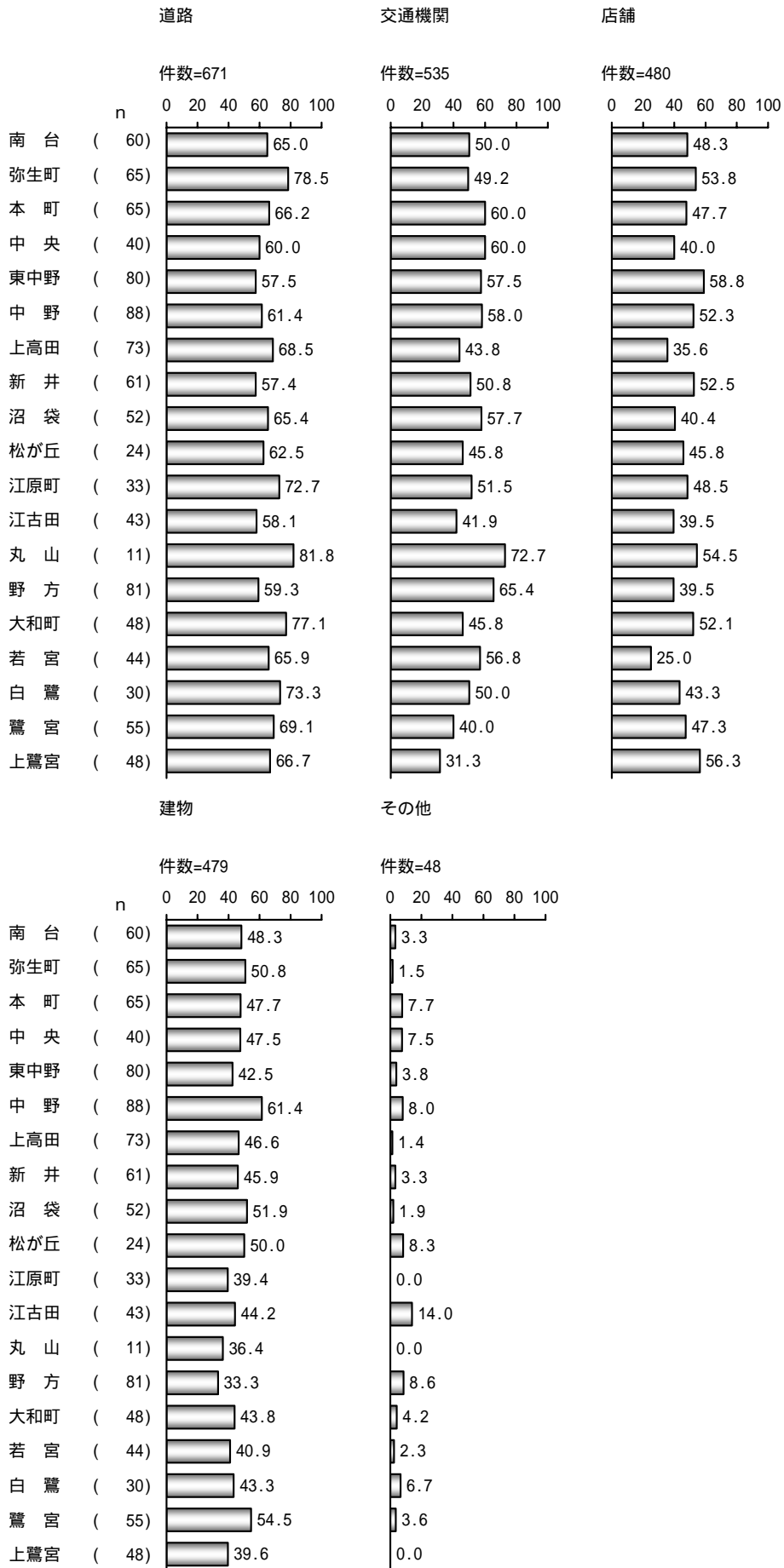
< 図 3 - 27 > 性別



< 図 3 - 28 > 年齢別



< 図 3 - 29 > 居住地域別



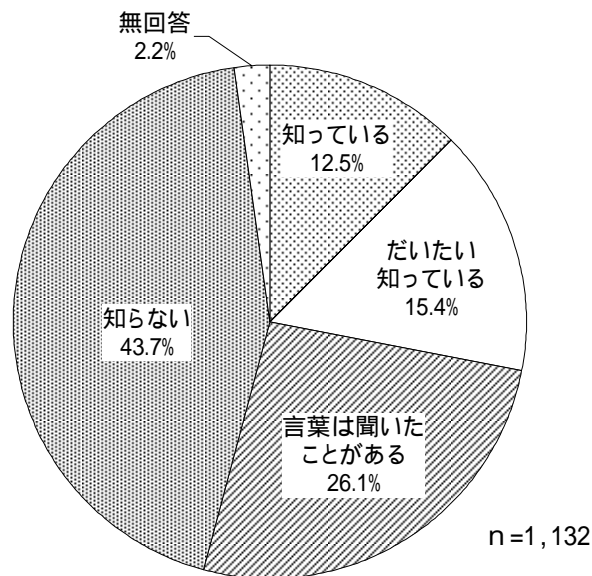
(9)「ユニバーサルデザイン」という言葉を認識している度合い

「知っている」と「だいたい知っている」を合わせると3割弱

(全員の方に)

問 28. あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉と意味についてどの程度ご存知ですか。(は1つ)

<図3 - 30> 全体



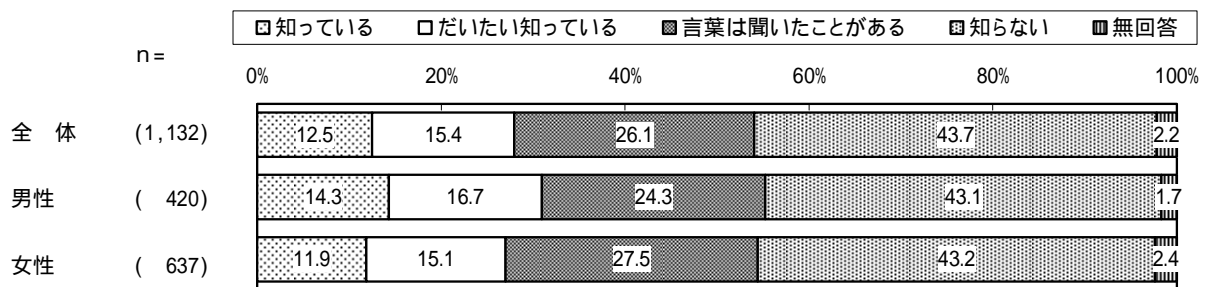
「ユニバーサルデザイン」という言葉と意味についてどの程度知っているかたずねたところ、「知っている」と答えた人は12.5%、「だいたい知っている」と答えた人は15.4%で両者を合わせた“おおむね知っている”は3割弱となっている。また、「言葉は聞いたことがある」と答えた人は26.1%、「知らない」と答えた人は43.7%となっている。

(図3 - 30)

性別に見ると、“おおむね知っている”は男性(31.0%)の方が女性(27.0%)より4.0ポイント高くなっている。(図3 - 31)

年齢別に見ると、“おおむね知っている”は年齢が若いほど高くなっており、特に20歳代と30歳代では4割以上となっている。一方、「知らない」と答えた人は80歳以上で61.2%となっている。(図3 - 32)

< 図 3 - 31 > 性別



< 図 3 - 32 > 年齢別

